

令和元年度 学校経営ビジョン

【目指す学校像】

普通科・情報管理科の併置の利点を活かした「実学」を通して、生徒一人一人を大切に、地域を支え地域の発展に貢献できるリーダーを育成する。

基礎学力、コミュニケーション能力、課題発見・解決能力を育成する。

*教科横断的な学習

◎総合的な探求の時間 (1年生・2年生・3年生)

(目標)

地域の資源を活用し自己の在り方生き方を養い地域の課題発見・解決に向けて地域の方と協働することから地域・社会に貢献できる資質・能力を育成する。

◎実学選択(3年生 普通科・情報管理科)

国語表現・政治経済・数学探求・理科課題研究
英語会話・スポーツⅡ・生活と福祉・総合実践
対象事例を参考に、総合的な探求の時間の学習内容も視野に入れながらこれら8科目で教科横断的に学習する。

【対象事例】

- 自己の在り方生き方に関するもの：進路学習、人権学習、ビジネス学習、修学旅行等
- 地域貢献及び活性化に関するもの：地域の特産物を利用した商品開発、高齢化対策・コミュニティの活性化、農業の振興、福祉健康の充実、商業施設の有効利用、空き家対策、多世代の交流、地域の気候や環境等

学習指導

～基礎学力定着と伸長～

- 基礎・基本の定着
- 資格取得や発展的学習の促進
- 少人数授業の実施
- 全生徒がビジネス基礎・情報処理を履修

生徒指導

～生徒の豊かな心を育成～

- 基本的生活習慣の確立と身だしなみ・マナー指導
- 他者のいたみを理解し、他者尊敬する心の育成
- 交通安全指導と非行防止
- 生徒支援体制や相談機能の充実
- 委員会・部活動・ボランティア活動の活性化

進路指導

～多様な進路実現を支援～

- 適切な職業観と進路意識の育成
- インターンシップを活用したキャリア教育の推進
- 企業と連携した講演会、企業訪問、面接指導の充実
- きめ細やかな進学指導の充実

授業・行事

(商品開発・インターンシップ
・「実学」教科間連携)

課外活動

(部活動・委員会活動
・ボランティア活動)

地域連携

(小中大学連携・コミュニティマルシェ
のふれ合い体験・地域行事への参加)

実学 (普通科・情報管理科でビジネス教育、豊富な体験学習と行事、地域との連携による実習)

学習指導要領改訂における「資質・能力の3つの柱」を育成する。

- ① 知識・技能、② 思考力・判断力・表現力、③ 学びに向かう力・人間性

教員の指導力向上

保護者、後援会・同窓会の協力

地域の資源活用